

平成<sup>せい</sup>27年度

熊本<sup>くまもと</sup>県学力調査<sup>さ</sup>  
「ゆうチャレンジ」  
小学校 第3学年 国語

- 問題<sup>もんだい</sup>は ① ～ ④ で、8ページまであります。
- ① は、放送<sup>ほうそう</sup>による問題です。放送が終わるまで、問題を開いてはいけません。
- 答えは、問題用紙の「かいとうらん」に書いてください。

年 組 番	
名 前	

熊 本 県 教 育 委 員 会

1

今聞きとったことをもとに、次の問題に答えましょう。

- (1) まりさんのうれしかったことは、だれに何と言われたことですか。左の  にあてはまる言葉を書き  
ましょう。

(だれ)

(何)

①

に

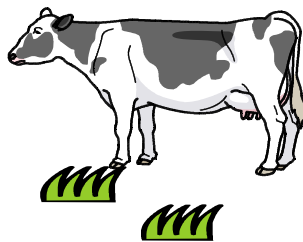
②

と言われたこと。

- (2) まりさんは、つたえたいことが聞き手にわかるように、どのようなくふうをしていましたか。次のアからエ  
までの中から一つえらんで、その記号を書きましょう。

ア うれしかったときの気持ちだけを話している。  
イ うれしかったときのできごとだけを話している。  
ウ うれしかったこととその理由を話している。  
エ 自分で調べたことをよくまとめて話している。

③



- (3) ひろしさんは、一年生から「おにいちゃん」とよばれてうれしかったことを発表していました。その後、ま  
ゆみさんの感想と先生のお話がありました。

まゆみさん



まりさんは家族のためになっているし、ひろしさんは一年生からたよりにされているので  
すごいなと思いました。わたしも、そんな三年生になりたいです。

先生



いいところに気づきましたね。うれしかったことには、なにかができるようになってうれしかったことや、だれかのために becoming うれしかったことなどいろいろありますね。では、みなさんのうれしかったことは、どんなことですか。

次は、あなたが「うれしかったこと」を発表します。まりさんのスピーチ、ひろしさんやまゆみさんの感想、先生の話を参考に<sup>さんこう</sup>して、次の①、②の順番<sup>じゅんぱん</sup>で  の中に<sup>じつさい</sup>実際に話すように書きましょう。

【話す順番】

- ① うれしかったこと
- ② うれしかったわけ

わたし（ぼく）がうれしかったことは、

--	--	--	--

⑤ ④

2

次の問題に答えましょう。

- (1) 次の文の —— 部の漢字の読みを、ひらがなでいいねいに書きましょう。

① 荷物が軽くなる。

くなる

② 美しい花がさく。

しい

③ 米屋に行く。

- (2) 次の文の —— 部のひらがなを、漢字でいいねいに書きましょう。

① さむい冬がやってくる。

い

② 西のほうかくをさす。

しむ

③ 本にしたしむ。

- (3) 次の文の主語とじゅつ語は、どれですか。

に書きましょう。

全国でも ゆう名な くまモンは くまもとの 人気者です。

主語

じゅつ語

- (4) ともみさんは、次のような日記を書きました。お母さんが言ったところに、「」をつけて、作文（原こ



3

たいちは、じいちゃんといっしょに、誕生日<sup>たん</sup>日にケーキを作るための野いちごをつみに、森へ出かけました。次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。※ 文章中の「森おやじ」とは、大きな木のことです。

(こはらまゆみ<sup>ちよ</sup>著 「じいちゃんの森 森おやじは生きている」による。)

(1)

——部①「いきがもれるような小さな声」とありますが、じいちゃんは、なぜ、いきがもれるような小さな声で言ったのでしょうか。文章中の言葉を使って、次の□に書きましょう。

⑬

(2)

——部②「あつ、そうか……」とありますが、ようすがつたわるように音読するとしたら、どのように音読しますか。次のアからエまでのの中から一つえらんで、その記号を書きましょう。また、そのように考えたわけを、あとの□に書きましょう。

- ア 明るくはっきりと音読する。  
イ 力強く大きな声で音読する。  
ウ たのしそうにゆっくり音読する。  
エ かなしそうに小さい声で音読する。

⑭



【わけ】（文章中の言葉を使って、あなたがそう考えたわけを書きましょう。）

⑮

⑯

4

三年生のたかしさんの学級では、みんなでザリガニを育てています。二年生も学級でザリガニを育てることになりました。生き物係<sup>がかり</sup>のたかしさんは、ザリガニの育てかたについて調べたことを【メモ】に書き、【メモ】をもとに、二年生のみんなに手紙を書くことにしました。よく読んで、あとの問題に答えましょう。

【メモ】

③育てるときに気をつけること

- ・ 水はザリガニのせ中がかくれるくらいの高さまで入れる。
- ・ 水は毎日少しずつとりかえる。

①ひつようなどうぐ

- ・ 水そう
- ・ 水そうのふた
- ・ 水草
- ・ すな
- ・ かくれが（つぼ、植木ばちなど）

②ザリガニのえさ

- ・ 水草
- ・ するめ、にぼし
- ・ はいごうしりょう など



【二年生への手紙】

二年生のみなさんへ

わたしたちは、二年生のみなさんがザリガニを育てることになったと聞いて、ザリガニの育てかたをせつめいする手紙を書きました。

さいしよに、ひつようなどうぐについてです。ひつようなどうぐは、水そう、水そうのふた、（A）、すな、かくれがです。かくれがにつかえるものには、（B）、つぼやわれた植木ばちなどがあります。育てかたがわかるように、下に絵をかきました。さんこうにしてください。

次に、ザリガニのえさについてです。えさは、水草やするめ、にぼし、はいごうしりょうなどです。はいごうしりょうとは、えいようぶんをまぜて作ったものです。

Dさいしよに、

C

Handwriting practice area with four vertical dashed lines for writing.

25 24 23



(1)

たかしさんは、さいしよに【メモ】の①と②を使ってザリガニを育てるのに「ひつようなどうぐ」と「えさ」についてせつめいする文章を書きます。【二年生への手紙】の中の（A）と（B）には、どんな言葉を入れるとよいでしょうか。それぞれに入る言葉について合うものを、次のアからエまでのの中から一つずつえらんで、その記号を書きましょう。

① （A）に入る言葉

ア 植木ばち

イ 水草

ウ つぼ

エ にぼし

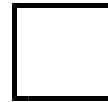
② （B）に入る言葉

ア けれども

イ それでは

ウ まるで

エ たとえば

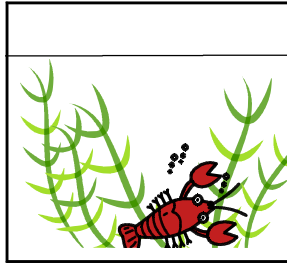


②①

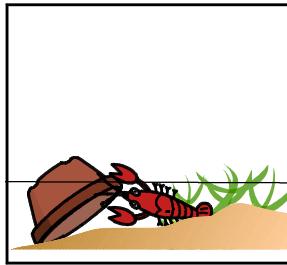
(2)

たかしさんは、育てかたがわかる絵を【二年生への手紙】のCにかくことにしました。【メモ】をよく読み、もっともふさわしい絵を、次のアからエまでのの中から一つえらんで、その記号を書きましょう。

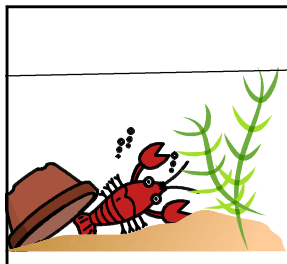
ア



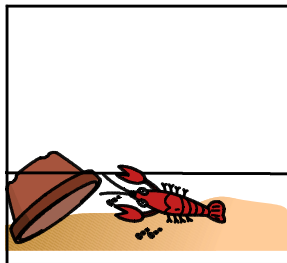
イ



ウ




エ



②②

(3)

右の【二年生への手紙】のDの  に、次の「書きかた」をよく読んで、手紙のつづきを書きましょう。  
「書きかた」

- ※ 【メモ】の③育てるときに気をつけることを使って書きましょう。

※ 二年生のみんなに、よびかけるように書きましょう。

※ 漢字や言葉づかいのまちがいないように書きましょう。

これで、問題は終わります。